

⇒⇒⇒⇒⇒7月20日(火)

*開会式およびセンター長ご挨拶

11:00-11:20 友常勉「国際日本研究センターの歩み」

*基調講演 司会：鈴木美加

11:20-12:50 ユンホスク（韓国・サイバー韓国語大学）
「韓国における日本語教育の革新とエドテック」

*セッションⅠ：オンラインによる日本語教育とコミュニケーション 司会：鈴木美加、谷口龍子

13:40-14:30 Nadezhda Veinberg（ロシア・イルクーツク大学）
「ロシアにおけるコロナ禍での日本語教育」

14:40-15:30 Tasanee Methapisit（タイ・タマサート大学）
「オンライン授業における日本語学習者のコミュニケーション」

15:40-16:30 幸松英恵（東京外国語大学）
「オンラインによる短期日本語・日本文化研修の可能性と課題について」

16:40-17:30 林慧君（台湾・台湾大学）
「接尾辞的用法をもつ省略形態素「-コン」に関してー中国語の同音語“-控(kong)”と対照しながらー」

17:40-18:30 ASADCHYKH Oksana（ウクライナ・キエフ国立大学）
「ウクライナにおけるコロナ禍の高等教育への影響ータラス・シェフチェンコ記念キエフ国立大学の場合ー」

⇒⇒⇒⇒⇒7月22日(木)

*セッションⅡ：COVID-19と文学研究 司会：友常勉

09:00-09:50 Lim Beng Choo（シンガポール・シンガポール大学）
「Performing Kyogen during the pandemic - “YouTube de aimashou” as a case study」

10:00-10:50 鄭家瑜（台湾・政治大学）
「日本と台湾における石の信仰」

11:00-11:50 土田耕督（東京外国語大学）
「桜と疫病：鎮花祭・やすい花・花の下連歌」

*特別講演 司会：友常勉、谷口龍子

13:00-14:00 朴喆熙（韓国・ソウル大学）
「東アジア日本研究の可能性と課題」

14:10-15:10 坂本恵（日本大学、東京外国語大学名誉教授）
「国際日本研究センターで得たもの（仮）」

◇ 一般公開

◇ 使用言語：日本語、英語

◇ 事前お申し込み必要（締切：7月19日10時まで）

以下のリンク先またはQRコードより事前お申し込みをお願いします。

<https://forms.gle/vdnQj9KfehsdFUTSA>



お申し込みされた方には、7月19日にZOOMリンクと案内文を送信します。

⇒⇒⇒⇒⇒7月23日(金)

*セッションⅢ：サステナブル人文学のために 司会：久野量一、友常勉

09:00-09:50 小那覇セシリア（アルゼンチン・ラプラタ国立大学）
「アルゼンチン新聞記者の目が見た1930年代の日本」

10:00-10:50 孫建軍（中国・北京大学）
「「友好」という語について」

11:00-11:50 キタハラ 高野 聡美（ブラジル・リオデジャネイロ州立大学）
「COVID-19と日本学と国際交流」

13:00-13:50 Scarlett Cornelissen（南アフリカ・ステレンボッシュ大学）
「Transnational business corporations, human rights and global justice」

14:00-14:50 Stanislaw MEYER（ポーランド・ヤギェロン大学）
「曆とその政治的・文化的な意義（中国と日本を中心に）」

*特別講演 司会：川村大

15:00-16:30 野本京子（東京外国語大学名誉教授）
「国際日本研究センターの発足と私の日本近現代史研究」

*学長のご挨拶

*閉会式

国際日本研究センター主催 夏季セミナー 『COVID-19下の人文学の現在』 2021